

全国のほとんどの読売新聞販売

店(YC)は、「子ども110番の家」

に登録しています。子どもが不審者や痴漢などから逃れようと助けを求めてきたときに、その子を保護し、警察、

学校、家庭な

どへ連絡する

のが主な任務です。

「子ども110番の家」に限らず、地域の安全を守るためには、大人たち全員に緊急事態への心構えが必要で、子どもが助けを求めて

子ども110番の家

きたら、まず、家の中に入れ、次の点に注意して対応しましょう。

①状況を正しく把握するため
まず自分が落ち着く②やさしく声をかけて子どもを落ち着かせてか

ら話を聞く③

110番する
時はまず自分

の住所、氏名などを伝え、聞き取った内容を順序よく話す④緊急だと判断した時は110番通報をしなから子どもに話を聞く

防犯一口メモ